

1. 調査報告概要表

作成日 平成22年4月15日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 1 5 0 2 5 2 0
法人名	一般社団法人 日本地域福祉協会
事業所名	街かどケアホームほのか
所在地	福山市沖野上町五丁目6-11 (電 話) 084-921-6240
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南四丁目46-9
訪問調査日	平成22年3月26日

【情報提供票より】(22 年 3 月 18 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年2月28日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	11 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 5.8 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての,	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56,000 円	その他の経費(月額)	33,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有(期間:3年)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(3 月 17 日現在)

利用者人数	16 名	男性	7 名	女性	9 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 85.9 歳	最低	74 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	いぐちクリニック(内科)	平田歯科(歯科)
---------	--------------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

比較的交通量の多い道路から小川を隔てた道路に面した建物である。そのため、交通機関による騒音はなく静かな環境に恵まれている。地域との交流も親密で施設内にある会議室は近隣の方たちの交流の場、集会所として活用されている。入居者は、ノーマライゼーションの考え方にに基づき、本人の意思を尊重し、自立した生活が出来るよう尊敬と思いやり、おもてなしの心でサービスが提供されている。また、研修にも積極的に取り組まれよりよいサービスが提供できるよう努力されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	法人グループ内で、グリーンカードを作り「ありがとう」の気持ちを伝える運動が実施されている。これは入居者を介護している時、そっと手を差し伸べて貰い「よりスムーズな介護が出来た」など、よりよいサービスを提供できた職員が手伝って貰った職員へ感謝の気持ちで渡すカードである。カードを貯めることが目的ではないが、お互いの仕事を助け合うことで生まれる心のゆとりがサービス向上につながっていると思われる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	毎月、当日休日の職員も出席し、ミーティングを実施している。入居者の状況を共通認識すること、法人理念の理解、内部研修をはじめ、外部研修の伝達など職員のスキルアップに力を入れている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議のメンバーは、町内会長、民生委員、入居者のご家族、地域包括支援センター職員、ほのか管理者で2カ月に1回開催している。入居者へのサービスについて意見を頂いたり、地域の情報を提供して貰っておられる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族が訪問された時は、できるだけ話しやすい雰囲気を作り、要望など言い易いよう努力している。あまり、苦情は言われないが掃除を気をつけて欲しいなど要望されたことがある。訪問されない家庭へは、毎月預かり金の報告などと一緒に近況をお知らせしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域は、自治会へ加入し町内の行事には積極的に参加している。清掃活動は勿論、運動会や祭にも参加している。今年4月には当ホームの7周年に当たることもあり、記念行事を予定している。町内の方に積極的にご案内してバザーにも参加して頂きたいと思っている。これを機会に一段と町内、近所と親交を深めたい意向である。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホスピタリティ(思いやり、親切心、心からのおもてなし)の精神でその人らしい生活を送られるよう運営理念に掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時に、施設長がマンツウマンで指導し理念を共有するようにしている。また、研修時には常に理念を振り返るようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、町内の清掃活動、祭、運動会などに参加している。水害の時、近所の方の避難場所に使って貰ったこともある。また、異動により地域となじみの深い設立当初の施設長の赴任により交流の進展が期待される。		平成22年4月に「ほのか7周年感謝祭」を予定しており地域の方との交流をさらに深める機会としたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎月2ユニット合同でフロア会議(休日者も出勤)を実施し、外部評価、自己評価或いはホスピタリティについて全員で話し合いサービスの向上を目指している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、町内会長、民生委員、入居者のご家族、地域包括支援センター職員、ほのか管理者が出席し平日昼間開催している。ホームの現状報告や地域の情報提供など活発に意見交換している。		運営推進会議へ市の担当者にも案内をすることが望まれる。

街かどケアホームほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、報告の機会など出来るだけ密接に連絡を取るようになっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	当ホームでは、利用料などは法人が一括管理し直接入居者のご家族に請求しているためホームがタッチすることはない。毎月初め日常生活や金銭管理の報告書を送付している。毎週近況報告を希望される方もありできるだけ希望に沿って対応している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	前項の報告は、なるべく直接話す機会を作るよう努力している。来訪時や電話の際に話しやすいよう、近況報告などしっかりするとともに要望や苦情など聞きとるようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の際は、前任者から入居者の思いをひきつぎ対応の仕方に注意している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で新人研修、現任研修、役職者研修があり、職員資質の向上に努めている。フロア会議を月1回開催し、休日者も参加して全員が研修できる体制をとっている。外部研修には順番で参加し、受講者が報告を兼ね伝達する体制になっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	提携病院で行われている地域包括支援センターの意見交換会、交流会に参加している。		

街かどケアホームほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に訪問して顔なじみになったり、体験入居をしてなじみになってからサービスを利用して貰っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>高齢者の経験と知識に対して、常に尊敬と敬意の念を持って接し共に教えて頂くという姿勢が見える。時には職員が人生相談に乗っていただくこともあるという。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前の生活をよく聞き、本人の意向を把握するように努めている。意思表示が難しい場合には、日常の触れ合いから本人の意向を把握したうえでケアするようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>離床の声かけ、更衣などの介助はどの程度するかなど具体的に本人や家族の希望を聞き、介護者全員がカンファレンスに参加してケア計画を策定している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6か月ごとの見直しのほか、入院など変化があった時にはモニタリングを行い見直しを行って介護計画を立てている。</p>		

街かどケアホームほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院、診察同行、美容院へ同行、時にはドライブなど家族の状況や環境に応じ柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医への受信や往診に対応している。希望により訪問歯科の体制も整っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人内で、「看取り介護指針」を定めており、看護師を採用し、医療連携体制も整っている。入居時に説明しており本人、家族、医師と方針を共有している。		高齢になられ、家族と話し合い看取りについての同意書を頂くことになっていた方が急逝され、現時点で同意書を頂いている方は居られない。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報は鍵のかかるケースに保管している。日常の介護については言葉かけ、更衣など周りに気づかれないうように本人を傷つけないよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの要望に合わせ、食事時間、入浴など本人のペースを大切にしている。また、時には鞆の浦のひな祭りの見学など遠出をして生活に変化をつけるようにしている。		

街かどケアホームほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	平素は外部の食材会社から購入しているが、同じ食材でも入居者好みの調理法に替えたり、不評の献立の日は配食を断り別途好みの食品を購入する。魚嫌い、肉が嫌いなどは配慮している。誕生日や季節の行事など入居者の好みに合った食事を提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望に合わせて1人ずつ入浴できる。あまり入浴されない方には声かけして入浴を勧めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物を畳む、干すなどの作業を分担して頂くほか、アセスメントで趣味がわかっている時は、ゲーム、碁などの相手をボランティアにお願いしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ・外食・買い物等希望に沿うよう支援している。一人で外出される方にはGPSを携帯して貰っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけていない。エレベーターも制限していない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	スプリンクラーを設置した。避難訓練を年2回実施している。運動会や町内の祭に参加したり、水害の時ホームへ避難して頂いたりしたことなど、交流が深まり支援に来て頂ける環境が出来た。		

街かどケアホームほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好みを尊重しながら、およその目安で栄養が取れるよう配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は居心地良く過ごせるよう工夫されており、大きな窓から十分な光が入ってくる。		暫くいると気にならなくなったが、何かよく分からない気になる臭いがあった。換気に留意されること、掃除の専門職員に隔々の掃除に心配りや配慮を望みます。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家庭で使用していた家具や写真、ぬいぐるみなど持ち込まれ家庭的な雰囲気になっている。		